高畠連歌の会　平成21年10月26日　亀岡文殊堂奉納連歌　於山形県高畠町　大聖寺文殊堂

亀岡文殊堂奉納詩歌百首の内
直江兼続公の詩　菊逢秋日露香奇　を発句に

発句　脇　賦　初　何　連　歌

三　秋に逢ひ　奇きは露の　香りかな　公
四　文殊菩薩に　菊奉る　稲花
五　芋煮椀　月の出を待つ　声のして　駒女
六　集ひし人の　喜びの時　東市
七　初雪の　垰越え来て　とどまらむ　昭
八　懐かしみつつ　酌む温め酒　一蕗
九　青き空　小鳥の歌の　にぎやかに　とも
十　背筋を伸ばし　爺婆歩む　敏雄
十一　木下闇　杖をたよりに　村外れ　卓
十二　露の間に間に　訪ねてもみし　野菊
十三　語り部は　独り住まひの　家に居り　泰子
十四　亡き夫しのぶ　法の朝夕　陽子
十五　生きも死も　乾くことなき　旅衣　裕雄
十六　茨の道を　ふりかえりみる　東市
十七　降りしきる　雪にたちまち　跡消えて　一蕗
十八　犬の遠吠え　冴えし月影　稲花
十九　手鞠唄　橋のたもとで　君を待つ　弘子
二十　還らぬままに　初恋の人　駒女
ナ　いとほしき　方とたづさふ　春の道　敏雄
十一　うららかなるか　そよ風の中　とも
十二　まほろばの　花を見むとて　朱鷺一羽　野菊
十三　八幡様の　三重の塔　卓
十四　ともがらと　越後会津を　治めけり　一蕗
一　思ひひとつに　築く石堤　泰子
二　野仏の　膝にやんまの　民話生る　昭
三　愛子てふ名の　うまき山菜　稲花
四　杣道を　たどりつきたる　石清水　東市
五　遠き里には　煙上れる　敏雄
六　地吹雪は　白龍となり　天界へ　弘子
七　お八日餅を　夜明けより　搗く　駒女
八　食べすぎて　円満福の　ひげ達磨　卓
九　眼を剥きて　睡魔払はむ　一蕗
十　鳩峯の　紅葉をめでて　登りゆく　東市
十一　転ばぬやうに　露を踏みつつ　駒女
十二　闇開き　行方を照らす　後の月　稲花
十三　霧まとひつつ　船進むなり　泰子
十四　手入れして　桔梗刈萱　いま盛り　野菊
ナウ　心静かに　庭に佇む　昭
一　遅れ来て　小声で問ひし　旅だより　弘子
二　砂の国行く　子よ安らかに　稲花
三　西東　出会ひはるかな　絹の道　一蕗
四　ほんのり青む　山繭のいろ　弘子
五　若きらの　振袖集ふ　花の下（もと）　駒女
六　草木塔の　霞む故里　卓
七　八

兼続公　一　一蕗　五　泰子　三
稲花　五　とも　二　陽子　一
駒女　五　敏雄　三　裕雄　一
東市　四　卓　四　弘子　四
昭　三　野菊　三

高畠連歌の会　平成21年10月26日　亀岡文殊堂奉納連歌　於山形県高畠町　大聖寺文殊堂

亀岡文殊堂奉納詩歌百首の内

直江兼続公の詩　菊逢秋日露香奇　を発句に

発句

脇　秋に逢ひ　奇きは露の　香りかな　公

三　深山の寺に　黄菊白菊　訪ね来て　つとむ

四　月の下　石の　階　訪ね来て　裕雄

五　ひとり佇む　影もけざやか　舞ひ立ちぬ　譲

六　蝶々の　螺鈿びかりに　舞ひ立ちぬ　ひろ子

七　春の畑の　鍬の音高し　満

八　目眩めく　かげろひゆれて　路はるか　加津

ウ

一　老いし夫婦の　若菜摘みくる　つとむ

二　静かなる　木陰に鷺の　休みゐて　善照

三　旅衣にも　汗のしたたり　裕雄

四　久々に　潮騒きけば　虹も見ゆ　加津

五　恋ふひとおもふ　船宿の庭　つとむ

六　嫁ぎしと　噂を耳に　夕まぐれ　ひろ子

七　懐々として　今宵寝られず　謙

八　在りし日の　おもかげ胸に　偲びつつ　善照

九　酌がれて苦き　湯上がりの酒　つとむ

十　しゅんしゅんと　鉄びんの鳴る　囲炉裏端　満

十一　外は朝霜　月はか細く　裕雄

十二　尼御前の　経読む声の　漏れ来る　謙

十三　芽吹きを誘ふ　風のやさしさ　ひろ子

十四　花咲かば　まほろばの里　賑やかに　つとむ

ナ

一　弁当開き　野遊びの群れ　一郎

二　トンネルの　外は木洩れ日　降りそそぐ　加津

三　歩き慣れたる　山道を行く　善照

四　河鹿鳴く　昔語りの　峡の村　裕雄

五　雲の容に　母のおもかげ　ひろ子

六　にぎる手の　ぬくもり今だ　忘れかね　善照

七　水茎の跡　胸に秘めたる　謙

八　人はみな　若き日のあり　ひとり旅　つとむ

九　大臣の妻は　笑みて飛び立つ　裕雄

十　後の世は　神のみぞ知る　春の夢　加津

十一　おぼろ朧に　手さぐりの様　ひろ子

十二　草を分け　わらびを採りに　迷ひ入り　謙

十三　今はあたりに　虫すだく頃　裕雄

十四　明けの月　川面あかるく　浮かみ出で　つとむ

ウ

一　案山子も被る　愛の前立　加津

二　進みては　歩みを止むる　人の波　謙

三　身を切る風に　裾ひるがへり　ひろ子

四　戦なき　世を作らんと　願いつつ　つとむ

五　夜半に瞬く　星の散りばむ　加津

六　すやすやと　鴉の子ども　眠りをり　満

七　霞わたれる　空もうるはし　譲

八　城跡は　いまを盛りの　花の山　秀子

末広がりに　苗植うる村　ひろ子

兼続公　一　満　三

つとむ　八　加津　六

裕雄　七　善照　四

謙　一郎　一

ひろ子　七　秀子　一